

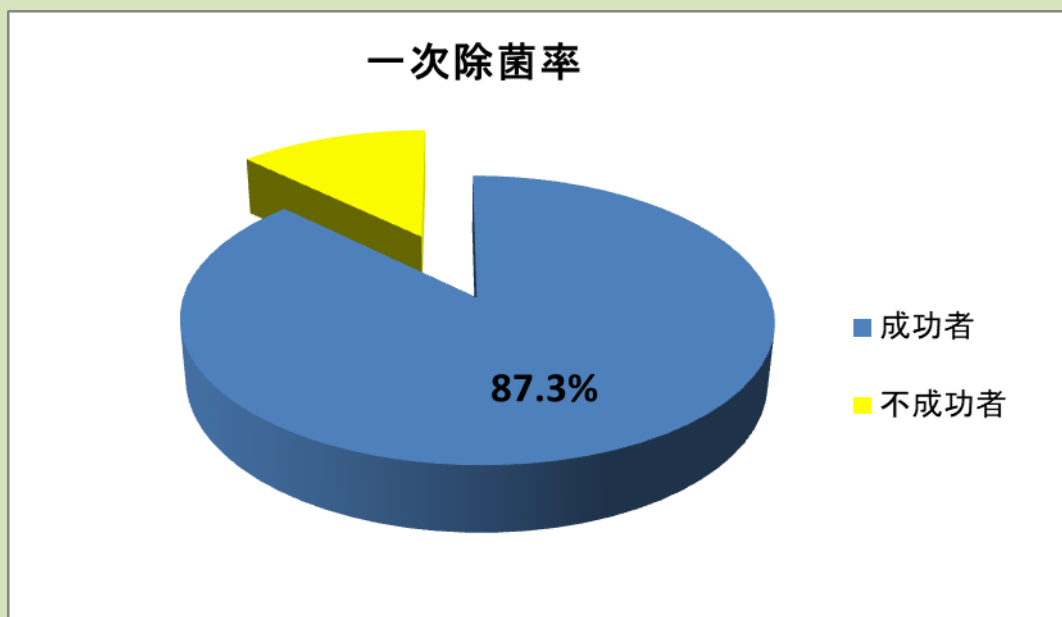
当院におけるピロリ菌の受診者

(2019年3月～2020年2月)

はじめに

酸関連疾患治療剤であるボノプラザンは、酸分泌抑制の作用発現が速く、ピロリ菌の除菌率が高いとされている。当院では、2015年7月よりボノプラザンによる除菌療法を開始し、昨年の一次除菌率は90.7%と高かった。2019年3月から2020年2月までの受診者の集計と一次除菌率を求め、その推移をおた。

一次除菌者数 : 189名 (男性89名、女性100名、年齢19～86歳)
一次除菌成功者数 : 165名
一次除菌不成功者数 : 24名



まとめ

昨年と同様に約96%の患者さんにボノプラザンが使用されていた。一次除菌率は昨年よりやや低下して87.3%であった。年齢は昨年同様に19歳から86歳と幅広く、性別に大きな差はなかった。下痢や蕁麻疹などの副作用の頻度は低く安全に行われていた。今後も高い除菌率の維持が期待される

日本ヘリコバクター学会認定医 桂田純二郎